



問 ふるさと納税型クラウドファンディングについて問う

ふるさと納税型クラウドファンディングは、ふるさと納税制度を活用し、プロジェクトに共感した人から寄附を募る、いわゆる思いを大切にしたい「共感」重視のクラウドファンディングであり、津市においても資金調達に有効な手段の一つになるのではと考える。そこで、津市におけるふるさと納税型クラウドファンディングの考え方と今後の方向性を問う。

答 市外の方にも共感を得られるよう今後研究していく

ふるさと納税型クラウドファンディングについては、ふるさと納税の寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、目標額・募集期間を定め、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組みであることから、寄附者の思いをダイレクトに反映させることができることがメリットとして挙げられる。

今後、市外に住んでいる方からも共感を得られるような津市独自の特徴的な事業を企画立案する上では、クラウドファンディングによる寄附募集も財源確保の手法の一つと考えるので、他自治体の成功事例等を研究していく。

その他の質疑・質問

- 議案第39号 令和8年度津市一般会計予算
- シェアサイクル実証実験について
- デジタル採点システム活用事業について
- 防犯カメラの設置について
- 災害時における消防団の対応能力向上について
- 消防団員の拡充および資格取得の優遇について
- 資格取得状況のデータベース化について

消防団員の資格取得の優遇と資格取得状況のデータベース化が災害時の活動に有効ではないか



問 津市庁舎内女子トイレへの生理用品設置事業について問う

令和8年度に津市役所本庁舎と各総合支所の女子トイレに生理用品を設置する事業を開始することで、「生理の貧困」の解消に踏み出すことを大変うれしく思う。令和3年度に行われた生理用品無償配布事業では各公共施設の窓口での手渡しであったが、今回はトイレの手洗い場への設置とするのはどのような考え方によるのか。また、設置時期はいつ頃を予定しているのか。

答 市役所本庁舎および各総合支所のトイレに設置する

生理用品設置事業は、誰もが安心して訪れることができる津市庁舎の環境づくりの一環として、女性特有の突然の生理現象に対処できる環境を整備するために実施するものであり、生理用品の窓口での受け取りには心理的な抵抗を感じる方がいることに加え、窓口を訪れるとなると時間もかかることから、トイレの手洗い場に設置することが最も効果的であると考えた。設置時期は、購入手続きや納期等を考慮し、令和8年6月ごろを想定しているが、できる限り早く設置できるよう努める。

なお、当該事業は試行的な取り組みではなく、継続事業として実施するものである。

その他の質疑・質問

- 災害備蓄品の保存環境には配慮しているのか
- 備蓄品の拡充や避難所の充実について
- 投票率向上に向けた取り組みについて
- 若者の投票事務への参加の推進を
- 保育環境の充実について
- 絵本、保育玩具や保育備品の充実について
- 保育施設の修繕について

地域の自主防災倉庫。屋外に設置しているため、夏の猛暑からどう備蓄品を守ることが課題

